

PAPAGO!

Driving Partner with you!

取扱説明書 User Guide

GoSafe 200

スライド式・高画質ドライブレコーダー

DC12V~24V対応



FC



CE

地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

この度は、PAPAGO!製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ドライブレコーダーのご使用にあたり下記の作業をお薦めいたしております。SDHCメモリーカードやmicroSDメモリーカードを定期的にフォーマット作業を行うこと、お願いいたします。詳しい操作方法は製品の「取扱説明書」にてご参照ください。

ドライブレコーダーに使用されるメモリーカードは車から供給される電圧電流が不安定と言われ、また、常にデータアクセスするため、一定の使用時間が経つとメモリーカード内部の構造が多少変わります。その原因で、本体が繰り返し再起動する可能性が高くなります。この場合にはドライブレコーダーの不良もしくは不具合が発生されていることではありません。

定期的にご使用のメモリーカードをフォーマットすることにより、メモリーカードを再構築でき、より安定したデータを記録出来ます。(推奨：月1-2回)

注)

メモリーカードをフォーマットされる前に必ずパソコンなどに必要ファイルをバックアップしてからフォーマットしてください。フォーマットを行うと全てデータが消去されます。ご注意ください。

又、何か不明な点などございましたらお問い合わせください。
今後ともご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

PAPAGO! GoSafe 200

この度は、弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございました。

目次

安全及び注意事項.....	3~6
1.はじめに.....	6~7
2.取り付け／取り外し.....	8~9
3.使い方.....	10~12
4.録画／再生／削除.....	12~14
5.設定メニュー.....	15~18
6.GoLife(PCソフトウェア).....	19
7.ドライブレコーダー 専用オプション部品早見表.....	21~21
8.お役立ち情報.....	22~23
9.修理依頼時の注意事項について..	24~25
10.その他.....	26~28

安全上のご注意

製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に以下の「安全上のご注意」をご確認ください。当説明書では、お客様や周辺の方々への危害や財産への損害を未然に防止し製品を安全にお使いいただけるよう図記号を併せて注意・警告の喚起を行っています。

●下記の表示は、誤った取扱によって生じる可能性のある危害・損害の程度を示しています。

 警告	死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	怪我をしたり、周辺の財産に損害を与える可能性があります。

●お客様に守っていただきたい内容を説明しています。

 禁止事項 （やってはいけない内容です）	 指示事項 （実行・遵守いただきたい内容です）
---	---

 注意	
 禁止	<p>運転中に画面やLEDインジケータを注視しないでください。 前方不注意による事故の発生原因となる可能性があります。</p> <p>コードを噛み込ませたり、引っ張ったり傷つけたりしない。 ショート・断線などにより、発火など故障・不具合の原因となる事があります。</p>
 指示	<p>安定した場所に設置・固定してください。 固定されていない状態および不安定な状態でのご使用は、急ブレーキなどの際、思わぬケガや損傷を負う危険があります。 必ず固定してご使用ください。</p> <p>取り付けはフロントガラスの上下範囲のうち上端から20%の範囲を目処に取り付けてください。</p>
 指示	<p>規定容量のヒューズを使用してください。 必ず製品の規定容量のヒューズをご使用ください。</p>
 禁止	<p>ケーブルを引っ張らないでください。 シガープラグを抜く際は、ケーブルを引っ張ったりせず、必ずシガープラグを持って取外してください。</p>
 指示	<p>音量にご注意ください。 電源投入時、スピーカーから大きな音が出ることがあります。電源を切る前に音量を下げておく、また適切な音量設定でご利用いただくなどご注意ください。</p>
 禁止	<p>停車中に長時間使用しないでください。 エンジンを停止したまま長時間にわたり使用しないでください。バッテリーの放電によりエンジンが始動しない恐れがあります。</p>

 警告	
 禁止	<p>規定電圧以外で使用しないでください。 当製品はDC12V～24Vマイナスアース車専用です。規定外の電圧・電圧での使用は発火・感電等の原因になります。</p>
 水かけ禁止	<p>水をかけたり、濡らさないでください。 内部に水が入ると故障・発火・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>運転の妨げになる場所に設置しない。 視界を妨げたり運転操作に支障のする場所には設置しないでください。 視界不全、操作ミスにより交通事故の原因となる可能性があります。</p>
 指示	<p>車を離れる時は電源を切ってください。 車種により、エンジン停止状態でもシガーソケットに常時給電されている車種があります。 ご使用にならない時はシガープラグを抜いてください。</p>
 禁止	<p>高温にご注意ください。 高温を発生するヒーターなどの付近に設置しないでください。 発火・故障・変形等の原因になります。</p>

 指示	エアバッグにご注意ください。 エアバッグの作動範囲外に取り付けてください。 エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。	 指示	シガープラグを定期的に点検してください。 シガープラグやソケットを定期的に点検し、ホコリや汚れがないよう清掃してください。汚れによって動作不全や発火・感電等をひき起こす原因になります。
 <small>異常のときはシガープラグを抜く。</small>	故障・異常の際はすぐに点検を！ 発煙、異臭、異音など異常が発生した場合は、シガープラグを抜き販売店に点検をご依頼ください。 発火・感電等の原因となります。	 禁止	運転中は操作しないでください。 走行中の操作は前方不注意・運転操作ミスによる事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを掛けた状態で操作を行ってください。また、手動録画操作等の際には周囲の安全を充分に確認してから操作を行ってください。
 禁止	分解・改造しないでください。 感電・故障の原因となりますので絶対に分解・改造しないでください。		

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接的、間接的に問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
 本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して当社は一切の責任を負いかねます。
 万一落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、慌てずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 万が一、映像が記録されなかった場合や、記録された映像データが破損していた場合、また映像内容の詳細が判別できないことによる損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。
- 昼間に日差しや夜間にライト・ナビの画面など反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- ※電源オン時MicroSDHCカードの抜き差しを行わないでください。
 MicroSDHCカード破損の原因となります。必ず、電源オフ後LEDが消灯・画面表示がないことを確認し、MicroSDHCカードの抜き差しを行ってください。
- ※万が一、事故発生もしくはアクセント時、必ずMicroSDHCカードを抜いて保管ください。記録された録画データが上書きされないよう対応となります。

本製品取付、配線時注意事項：

- ・本製品及び接続ケーブルを車内に配線頂く前に、必ず動作確認を行ってから配線してください。
- ・ケーブル類を配線するときは、車両側部品との噛みこみに注意し、突起物に当たらないようにしてください。
 ※本製品の破損や漏電、事故・火災・感電等の原因となります。
- ・取付完了後は、ブレーキ・ライト・ホーン・ウinker等すべての電装品が正常に動作することを確認ください。
- ・車内配線に未経験の方は、必ず整備工場や専門業者に相談の上、取付けを行ってください。
 万一上記問題がございまして当社と致しましては、一切責任は負いかねますのでご注意ください。

- ・LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

本製品は使用方法に間違いがなかった場合でも、画像やデータの記録を完全に保証するものではありません。本体に保存されたデータの消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。

- ・本製品の仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

使用注意事項

1. 使用法

1. エンジンを停止してもシガーライターに給電されている車両の場合、車両バッテリーの放電防止の為、未使用時にはシガープラグを必ず抜いてください。
2. エンジン停止後やアクシデントにより電源が切断された際などに一定時間録画状態を保てるように本体内にバックアップ電源を搭載しています。
また、本体の電源OFF直後もシステムおよびファイル保護の為、電源は即座には切れません。
3. 本体電源OFF直後は前述のようにファイル保護の為、シャットダウン処理中の場合があります。完全に電源が切れるまでMicroSDHCカードを抜かないでください。MicroSDHCカード内のファイル破損MicroSDHCカード自体の破損等につながる可能性があります。

2. 使用するMicroSDHCカードについて

1. 容量8GB以上、速度Class 10のMicroSDHCカードをご使用ください。
2. 使用前にMicroSDHCカードをフォーマットしてください。
3. 使用するMicroSDHCカード容量によって記録可能な時間が異なります。
※MicroSDHCカードは消耗品であり、書き込み可能回数や使用状況などで製品寿命があります。約1年を目安に交換することをお勧めいたします。
※MicroSDHCカードは使用状況や安定して使用頂くため、定期的にMicroSDHCカードをフォーマットすることをお勧めいたします。

参考記録時間

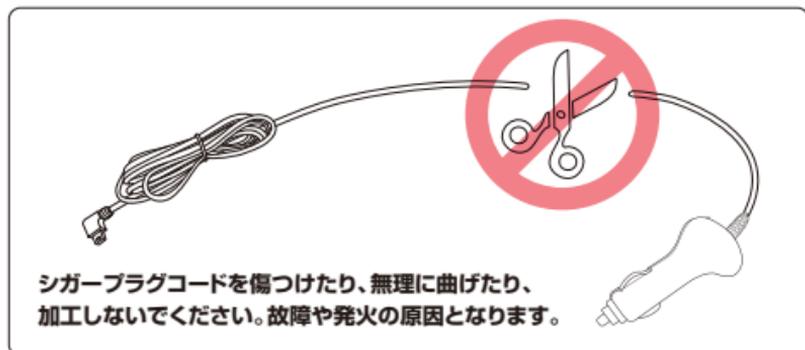
MicroSDHCカード容量	FullHD1080p /30fps時 参考記録時間	HD 720p /30fps時 参考記録時間
8GB	2 時間	3.5時間
16GB	4 時間	7 時間
32GB	8 時間	14 時間

※上記値は参考値(目安)で、絶対保証するものではありません。

※ご使用される周囲環境やメモリーカードの容量などの要因で記録可能な時間や件数が異なります。

3. 電源ケーブルについて

GS200は、専用の電源ケーブル以外を使用すると正常に動作しない場合があります。必ずパッケージに付属の12/24V専用シガープラグケーブルを使用し、本体側面にあるUSB充電対応端子に接続してください。



※本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、必ず電圧変換を十分ご配慮ください。電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障や壊れる・エンジン故障や事故の原因になります。詳しくない方は、必ず、車改造の業者や専門店の方とご相談ください。

1.はじめに

1.1 パッケージ内容

ご使用前にパッケージ内容がそろっているか最初にご確認ください。

① 本体



② 12/24V シガープラグ



③ バックミラー専用フレーム



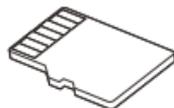
④ 日本語取扱説明書



⑤ 国内保証書

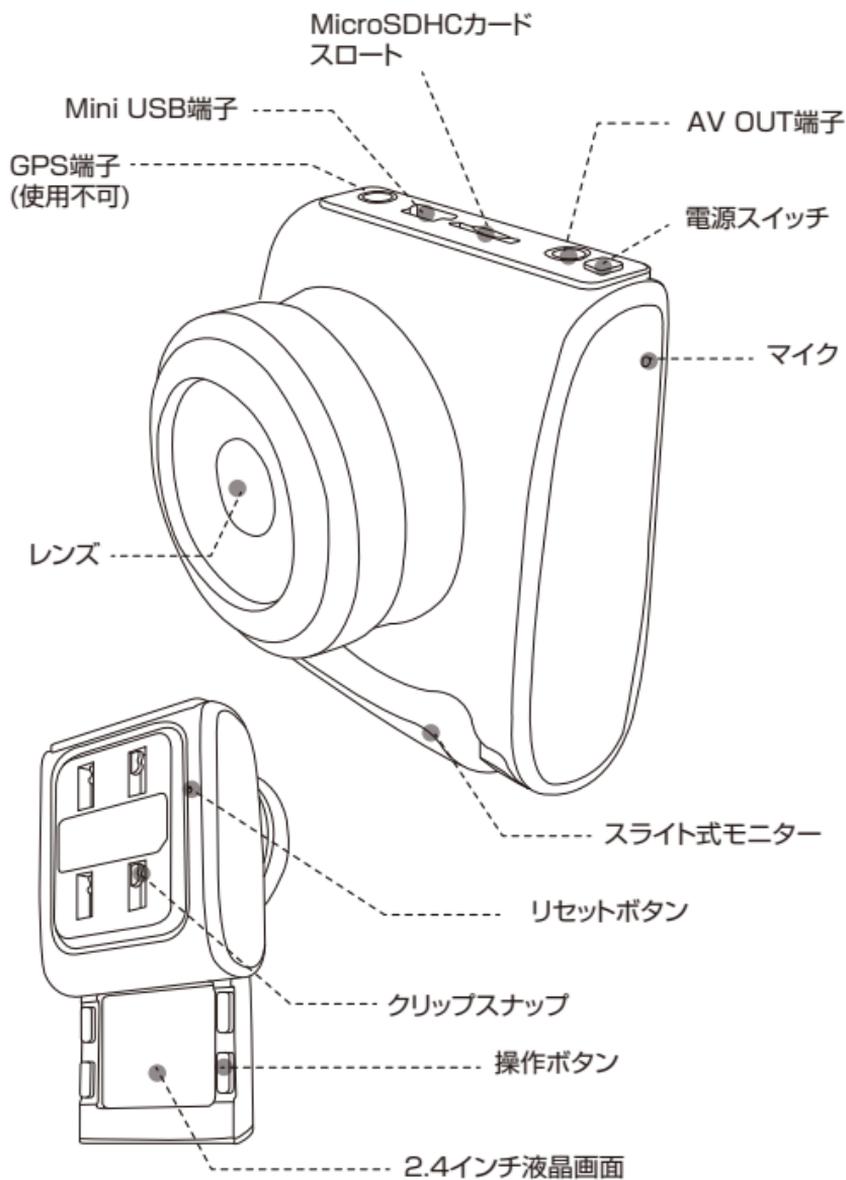


⑥ 8GB CLASS10
MicroSDHC
x1枚



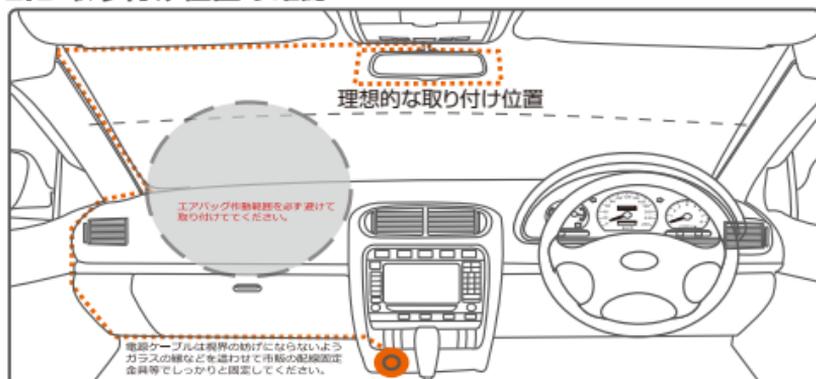
弊社製品の改良などの理由により、予告なく変更される場合があります。

1.2本体の各部説明



2.取り付け/取外し

2.1 取り付け位置の確認



1. GoSafe200本体と付属されている専用ブラケットをカチッと音が出るまでしっかりと固定させ、本体とブラケットが外れないように固定されているか確認下さい。
2. バックミラーに専用ブラケット部分を取りつけてください。取付の際バックミラーがブラケットのアーム部分としっかりと固定されているか確認し、付属しているシガーソケットケーブルを接続して車のエンジンをかけてください。
3. エンジン起動後にバックミラーの角度調整とGS200本体からモニター部分をスライドさせ録画されている角度を確認下さい。画角度がずれている場合はGS200本体を左右に動かし、適切な撮影角度の調整をして下さい。
4. エアバッグ作動範囲を必ず避けて取り付けして下さい。

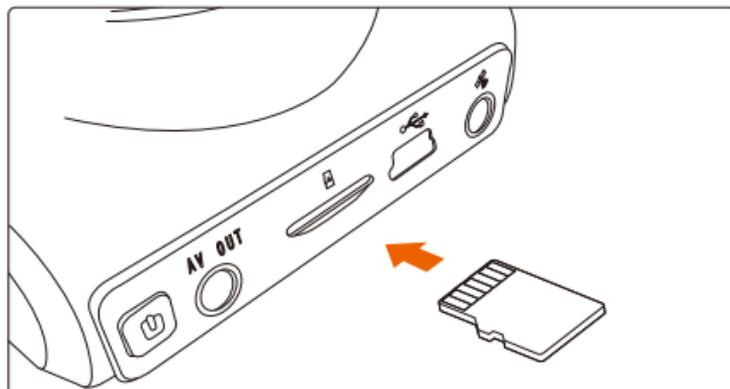


エアバッグ作動範囲にご注意ください

エアバッグ作動範囲内に取り付けられた場合、エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。当社は車両衝撃やエアバッグ動作の原因で傷害や重傷、死亡等に至るな事故に関しては一切の責任を負いかねます。

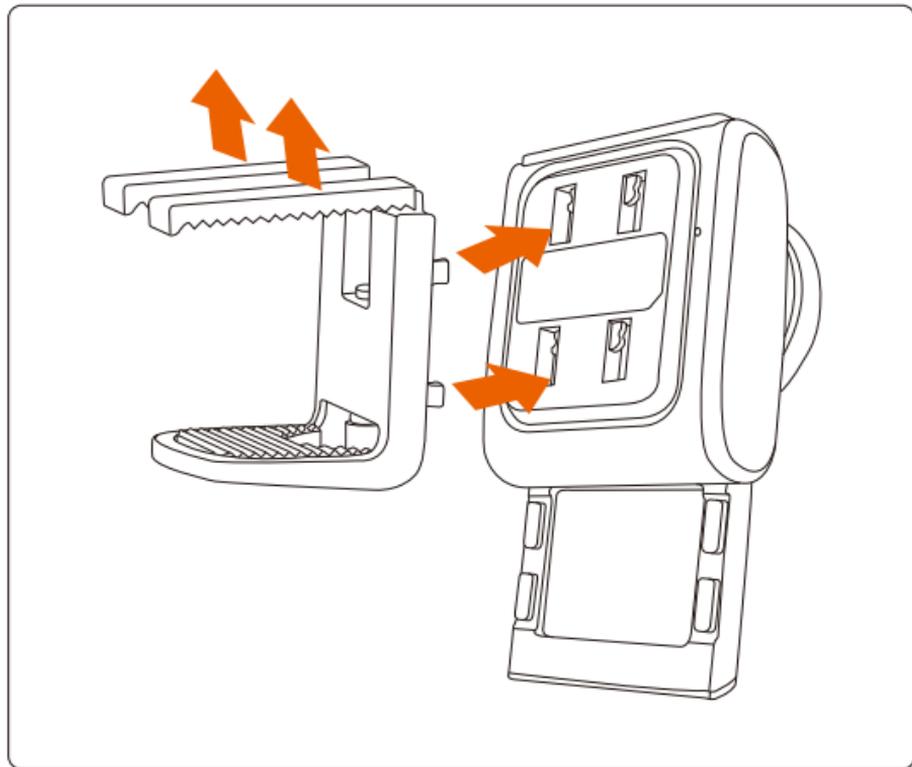
2.2 MicroSD カードの取り付け

MicroSD カードの金属面を上にし、本体のMicroSD カードスロットに挿入します。



2.3取り付け説明

- ① フレームサポートを本体のクリップスナップに引っ掛けます。
- ② 本体背面上方の二本の挟み板を上引き伸ばし、固定範囲を広げます。
- ③ 本体をバックミラー近くのガラス面の適切な位置に置き、挟み板をバックミラーの上下両側に合わせ、本体をバックミラーに固定します。
- ④ 本体の角度を調整し、ディスプレイが最適な位置に表示されるようにします。
- ⑤ シガープラグを本体のMini USB端子と車のシガーソケットに接続します。



3.使い方

本製品はお客様がご満足且つ快適にご使用頂けるため、万全な設計と高品質管理で作られてきた製品です。

ただ、天候状況や明るさなどにより、録画された映像がはっきりしないもしくは映像保存エラーが発生し、一部製品の安全機能うまく稼働出来ない場合もございますので、予めご了承ください。例え、

- ※急激に明るさが変わる場合
- ※日光の影と陽射しの逆光が強い場合
- ※車走行中の揺らぎ・振動など
- ※悪天候(大雨、雪、強風、濃霧、夜間など)
- ※夜の光源が全くない極端な場合など

3.1 起動～録画開始

- (1)電源コードがシガープラグに差し込まれている事を確認します。
- (2)電源コード先端のmini USB端子を本体USBコネクタに差し込みます。
- (3)MicroSDHCカードをスロットにしっかり差し込みます。
- (4)電源スイッチを押してパワーONします。

3.2 ドライブレコーダーの初期設定

お買い上げ後に初めて本製品の電源を入れたときは、言語や地域、時刻の設定を行ってください。

また、安心してご使用頂くためのご注意!

本製品で安心して映像を記録するために使用前にメモリーカードのフォーマット(初期化)を実行してください。フォーマットの方法はドライブレコーダー本体の設定でフォーマットを選択し実行してください。初回設定後もお安心してご使用頂くために、定期的にメモリーカードのフォーマット(月1-2回)を推奨しています。

より安全及び録画画質
品質を保証するため
にメモリーカード
を初期化してください

- ※必要なデータがある場合、パソコンなどにバックアップしてからフォーマットを行ってください。
- ※パソコンでは保存形式が異なるためフォーマットを行わないでください。

本製品の設定方法について「**5.14 フォーマット**」をご確認ください。

3.3 電源OFF～録画終了

- (1)電源スイッチを5秒以上押せば、パワーOFFします。電源ボタンを3秒以上長く押すと、再度パワーONします。
- (2)MicroSDHCカードの取り外しは、完全に電源が切れた事を確認してから行ってください。

3.4 各ボタンの機能

録画モード:

-   手動緊急録画ボタン   録画ファイル再生
-   設定メニュー
-   ボタンを押すと画面撮影(静止画)、
ボタンを長押しとマイクオン/オフ

録画ファイル再生:

-  録画モードに戻る  上へ
-  下へ  画像/録画データの選択

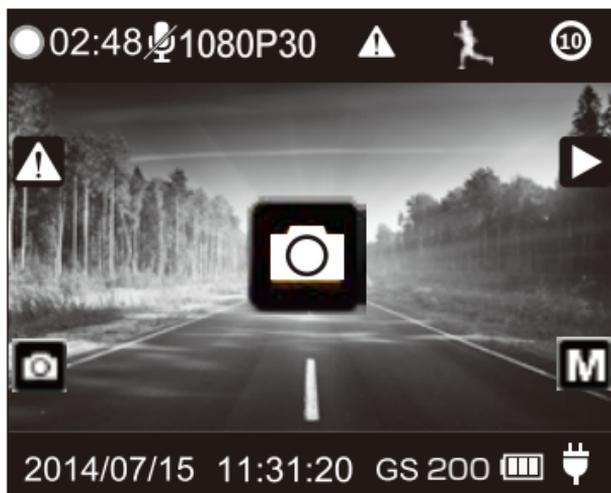
緊急ビデオファイル/ビデオファイル/写真ファイル

-  前へ戻る/録画モードへ戻る
-  上へ  削除
-  下へ  ロック
-  再生/一時停止/プレビュー

設定モード

-  戻る  上へ
-  下へ  確認

3.5 スクリーン表示内容



●02:48 : 録画中

🔊 : 音声記録ON/OFF

1080P30 : 画像解像度

⚠️ : 緊急録画状態

🚶 : 動体検知機能作動中

🚫10 : 速度制限標識警告

📷 : 写真データ保存中

2014/07/15 11:31:20 : 現在の日時

🔌 : 電源コード使用時

🔋 : 内蔵電池使用時

⚠️ : 緊急録画を起動

▶️ : 録画再生

M : メニュー

📷 : スナップショット

4.録画／再生／削除

4.1 サイクル録画（繰り返し上書き録画）機能

- 1.電源が投入されると挿入されているMicroSDHCカードに自動的に録画を開始します。
- 2.継続して3分ごと（初期値）にファイルを作成して録画を続け、MicroSDHCカードの容量が足りなくなる場合に、自動的に古いファイルからを消去し、上書きして録画を継続します。

⚠️ “設定→循環録画”で各段のループ録画時間の長さを設定できます。

4.2 緊急録画

- 1.手動バックアップ(手動録画)

録画中に、 ボタンを押すことにより、リアルタイムに撮った映像を緊急ビデオファイル(専用フォルダ)に保存されます。

2.自動バックアップ(衝突感知自動保存)

衝突などにより衝撃を感知した際に常時録画から自動的に前後の記録を緊急ビデオファイル(専用フォルダ)に保護します。

- 3.専用フォルダに保存出来る容量は実際にご使用頂くメモリーカード容量の約30%を設定しています。約30%を超えると一番最初のファイルから自動的に上書きしてしまいます。必要なファイルがある場合、パソコンなどに保存してください。



“設定-衝撃感度センサー”でセンサーの感度を多少調整できます。

4.3 スナップショット

- 1.録画中に、 ボタンを押すことにより、スナップショットができます。
- 2.スナップショットして撮った画像はMicroSDHCカード\PAPAGO\PHOTO\へ自動保存します。
- 3.スナップショットしたと、 のアイコンが出て行きます。ご自分設定により  消去防止対策は可能です。

4.4 ビデオ再生/削除

- 1.録画モードに、 ボタンを押して、再生リストを表示します。
- 2.再生するファイルを選択します。
(緊急ビデオファイル/ビデオファイル/写真ファイル)
- 3.ファイルを選択し、 ボタンを押して、再生します。
- 4. ボタンを押して削除する録画ファイル/写真を選択できます。



“アイコン”  は録画ファイル/写真をすでにロックし保護されていることを表します。すでにロックし保護されている録画ファイル/写真は削除できません。ロックを解除し再度操作してください。

4.5 USBリンクによるファイルの読み取り

- 1.USBケーブルを用いて、本体とパソコンにリンクさせ、パソコン側に“リムーバブルディスク”として検知されます。
- 2.リムーバブルディスクを開けて、“PAPAGO”フォルダに入ります。
- 3.必要とするファイルを選択して、パソコンにコピーします。



Emergency フォルダ:(緊急録画)
PHOTOS フォルダ:写真ファイル
VIDEOS フォルダ:映像フォルダ(一般録画)

4.6 MicroSDカードからファイルの読み取り

1. 本体の電源をパワーOFF以後、MicroSDカードを取り出します。
2. MicroSDカードをパソコン側にカードリーダーに挿し込んで、パソコン側に“リムーバブルディスク”として検知されます。
3. リムーバブルディスクを開けて、必要とするファイルを選択して、パソコンにコピーします。

4.7 AV 出力

- ① AV出力ケーブルで本機と出力設備をつなぎます。
- ② 出力設備の入力信号ソースをAVに設定します。
- ③ 出力設備のディスプレイを本機のディスプレイに替え、画面を表示します。
- ④ 映像および写真の録画、再生、削除ができます。

4.8 ファームウェアのアップデート

- ※本作業を行う前に、必ずメモリーカードに入っているすべてのデータのバックアップを取ってください。万が一、本作業を行う際に、本来メモリーカードに入っているデータが消える恐れもあり得ますので、弊社はその責任を一切負えませんので、予めご了承ください。
- ※定期的に弊社ホームページで製品の最新ファームウェア情報を確認してください。更新が必要なお客様は最新のファームウェアに更新を行ってください。
- ① PAPAGO JAPANホームページ: www.papago.co.jp をアクセスください。
 - ② “製品サポート/ファームウェア ダウンロード”に入ります。
 - ③ GoSafe 200最新ファームウェアファイルをダウンロードしMicroSDカードのルートディレクトリに解凍します。
 - ④ コピーを終えたらMicroSDカードを本機のMicroSDカードスロットに挿します。
 - ⑤ 本機の電源を入れます。
 - ⑥ LED 指示ランプが点滅し、アップデートを始めます。
 - ⑦ アップデートが完了したら、本機は自動的に再起動します。
 - ⑧ “設定-バージョン情報”で最新バージョンかどうかを確認できます。



MicroSDカードを使用しファームウェアをアップデートする際は、MicroSDカードの読み書きの安定性を保証するため、必ず本機でMicroSDカードの初期化をおこなってください。起動できなくなるなどの状況を避けるため、システムのアップデート中は、電源を切らないでください。

5.設定メニュー

※本設定メニューに「✓」の表示は本製品の初期設定です。）

録画モードで“”キーを押すと、設定モードに入ります。

5.1 解像度

録画の解像度を

1920x1080P30,1280x720P60,
1280x720P30,WVGA848x480,
VGA640x480に設定します。



5.2 循環録画

循環録画の時間を設定します。



5.3 日付/時刻

日付と時間を設定します。



5.4 日付表示

映像に時間表示を書込みします。



5.5 録音

録画中と同時に音声記録するかを設定します。



5.6 ボタン音

ボタン操作音のON/OFFを設定します。



5.7 露出補正

露出補正(EV値)(7段階)を調整し、適切な露出値を調整出来ます。

*EV(露出)値により映像画質が影響されます。



5.8 アンチフリッカー

電源周波数を50Hz か 60Hzに設定します。



5.9 衝撃感度設定

Gセンサーの録画トリガー強度を設定します。(低感度/中感度/高感度/オフの4階段)



5.10 ビデオ出力形式

ビデオの出力を設定します。
※初期設定はPAL形式となっていますが、NTSC形式を変更ください。



5.11 システム言語

メニュー言語を設定します。
日本語、英語、中国語(繁/簡)、ロシア語など全9ヶ国語。



5.12 LCDオートオフ

スクリーンタイムアウトの時間を設定します。



5.13 防犯検知機能

動体検知監視機能のON/OFFを設定します。
(※本機能を常時稼働させるには別途専用パワーケーブルもしくは常時電源供給装置が必要となります。)
※専用パワーケーブル:
スマート常時直結電源コード
型番:A-JP-RVC-1
JANコード:4582448450372)



夏場は車内温度が非常に高くなります。モバイルバッテリーを使って動体検知監視機能を使う場合は、車のダッシュボードや直射日光のあたる場所に長期間放置しないでください。液漏れや発火、破裂、爆発の原因にもなります。

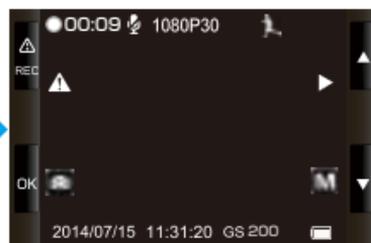
PAPAGO! 防犯監視機能対応 動体検知監視機能・イタズラや当て逃げ等の対策 設定方法

動体検知機能を「オン」に設定し、カメラ上の映像に約1分間変化がないと待機モードに入り、待機モード中、車の前方に人や車が通ると設定された録画時間(3分/5分)で自動録画開始・完了し、また約1分間前後に特に変化がないと再度待機モードに入ります。

通常は、定期的にメモリカードに入っている録画データをご確認頂ければ良いですが、もしも、何かご自分の愛車や周りの状況に違和感を感じる場合、直ちにその録画データをご確認の上、車の点検を行ってください。

PAPAGO! 防犯検知機能対応ドラレコ は、万が一の事故の時はもちろん、いたずら対策に役立ったり、時には事件解決の決め手となったり様々な用途で活躍出来ます。

(1)「防犯検知機能」→「オフ」(初期設定)→「動体検知」を設定ください。



(2)カメラ上の映像が10秒間に経過されると画面が消え(モニターに何も表示されません)、約1分間に経過され且つ画面上に変化がないと「待機モード」に入ります。→待機モード中、車の前方に人や車が通ると「動体探知」が作動し、基本録画時間1分間から最大ご自分設定された録画時間(3分/5分)で自動録画開始・完了→また再度待機モードに入ります。

また、どれかのボタンを押すと一旦「動体探知」機能が停止し、「ポップアップメッセージ」にてお知らせします。

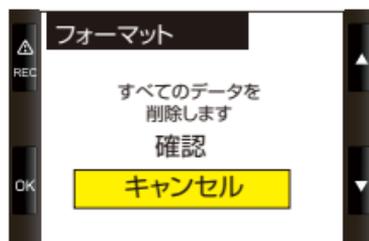
※※※注意※※※

「動体検知機能」は車が停車中の防犯監視機能として設計されています。本機能が稼働時にモニター画面が非表示(モニターに何も表示されません)され、本体の電源オフもしくは本体が動作していないと勘違いされてしまうため、必ず、通常録画中もしくは車走行中には「動体検知機能」をオンしないでください。



5.14 フォーマット

MicroSDHCカードをフォーマットします。



この操作はMicroSDカードの全てのデータを削除します。この操作は後に戻せません。映像または写真のバックアップを取ってからこの操作をおこなってください。

5.15 フォーマット通知

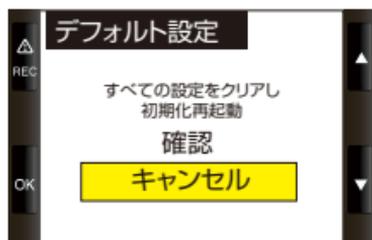
MicroSDカードのフォーマット通知を設定します。

※SDカードを正しく安定してご使用いただくために、SDカードは定期的にフォーマットを行うことをお勧めします。



5.16 デフォルト設定

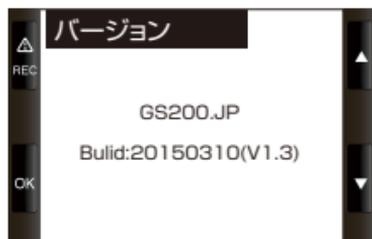
各設定が工場出荷時のデフォルト値に戻ります。



5.17 バージョン

システムファームウェアのバージョンを表示します。

2015年3月現在のバージョンはV1.3です。



※※※ 速度制限標識警告

録画画像中の速度制限標識を読み取り画像識別することにより画面中に走行経路の速度制限をモニターに表示し、走行中の制限速度の注意を促す機能。



天候状況や明るさなどにより本機能がうまく稼働出来ない場合もございます。また、速度制限標識警告は安全安心機能を前提に設計しており、本機能をオフすることは出来ませんので、予めご了承ください。

6.GoLife (PCソフトウェア)

6.1 システム要件

OS	Microsoft Windows XP 以上
CPU	Pentium4 2.4GHz以上
メモリ	512MB以上
I/F	SDカードリーダー
推奨ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8 以上

6.2 ソフトウェアのダウンロード

本製品に専用ビューアソフトは同梱しておりません。

お手数ですが、下記のダウンロード先で弊社のGoLifeソフトウェアをダウンロードください。

<http://www.papago.co.jp/golife.html>

ダウンロードした圧縮ファイルの解凍して、setup.exeというファイルを実行してGoLifeインストールください。

インストール後、GoLifeのショートカットがデスクトップに作成され、GoLifeを実行できるようになります。

6.3 プレイヤー インターフェイス



- 1.ビデオ ファイル リスト
- 2.ビデオ再生
- 3.機能リスト

7. ドライブレコーダー専用オプション部品早見表

PAPAGO! GS200専用オプション部品

製品	型番	JANコード	製品名
	A-GS-G08	4582448450396	GoSafe 200 専用シガープラグケーブル
	A-GS-G09	4582448450402	GoSafe 200専用 バックミラー専用 フレーム
	A-PPG-P03	4582448450389	GoSafeシリーズ 専用吸盤式マウント 「対応機種」 200

PAPAGO! 専用スマート常時直結電源コード

製品	型番	JANコード	製品名
	A-JP-RVC-1	4582448450372	スマート常時直結電源コード 「対応機種」 GS110、GS115、GS200、 GS210、GS220、GS272、 GS350、GS360、GS372、 GS381、GS520、

※一部図形表示や写真等はイメージで、実際のものとは異なる場合がございます。
 予めご了承ください。
 また、製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。
 予めご了承ください。

ドライブレコーダー専用オプション部品のご購入は、こちらのsupport@papago.co.jp
 までお問い合わせください。

8.お役立ち情報

清潔

- レンズの撮影効果に影響を与えないようにするため、本機のレンズに異物が付着した際は、指で直接ディスプレイに触れないでください。
- 機器に異物が混入した際は弊社までご連絡いただき、ご自身で本機や車用変圧器を解体しないでください。

保存

- 長時間車から離れる際は、機器を取り外し、車用変圧器を抜いてください。
- 湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。
- MicroSDカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はMicroSdカードを取り出してください。

トラブルシューティング

- 長時間車から離れる際は、機器を取り外し、車用変圧器を抜いてください。
- 湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。
- MicroSDカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はMicroSdカードを取り出してください。
- 起動できない
 - 本機に電力が供給されているか、あるいは電力が低すぎないか確認してください。
 - “RESET ”キーを押して再起動してください。
 - ディスプレイに現在録画している映像が表示されない。
 - 録画モードでディスプレイ表示がオフになっていないか確認してください。
 - “”キーを押してディスプレイ表示をオンにしてください。
 - ディスプレイにLCDオートオフが設定されていないか確認してください。“設定-LCDオートオフ”でディスプレイの設定を変えることができます。
- SDカードがいっぱいになった
 - 本機より不要な映像/写真を削除します。
 - MicroSDカードをコンピュータに入れ、不要な映像/写真を削除します。
 - MircoSDカードのデータをバックアップした後、初期化します。

○すでにロックされている映像や写真は削除できません。ロックを解除してから再操作してください。

※削除および初期化は後に戻せません。映像や写真のバックアップを取ってから再操作してください。

● 本機で映像を再生できない

○ MicroSDカード内の映像や写真のファイル名やフォルダ名がコンピュータで変更されていないか確認する。

○ MicroSDカード内の映像や写真がコンピュータによって処理されたか、本機で録画した映像や写真でない。

○ MicroSD がすでに壊れている。

上記の内容でもまだ解決しない問題については、販売店か当社までご連絡くださいますようお願いいたします。

9.修理依頼時の注意事項について

クイックチェック・ポイント

弊社製品の動作不具合の疑いがある場合、以下の項目をすべてご確認ください。実行しても改善が見受けられない場合にはPAPAGO！「お客様相談ホットライン」までお問い合わせ頂けますようお願い致します。

- ①車のシガーソケットに電源分岐アダプタを使用されている場合 電源分岐アダプタを取り外して、直接シガーソケットに電源を接続してください。



- ②常時直結電源コードで電源を接続している場合（※）
ドライブレコーダー本体から直結電源コードの電源コネクタを取り外した後、付属のシガープラグ電源コードを直接シガーソケットに接続してから動作確認を行ってください。

※弊社別売オプション部品

「スマート常時直結電源コード／
A-JP-RVC-1 / 4582448450372」。



- ③デバイスとの接触不良

メモリーカードやコネクタの接触状態が悪い可能性があります。
一度取り外してから再度接続してください。

④メモリーカードのフォーマット

最初にメモリーカードの必要なデータをパソコンなどにバックアップを保存してください。

※保存しなくてもよいデータの場合、バックアップ作業は不要です。
(詳細な作業内容は各製品の取扱説明書にてご参照ください)



次にドライブレコーダー本体でメモリーカードのフォーマット作業を行ってください。

安心してご使用頂くため定期的にメモリーカードのフォーマットを推奨しています。(推奨：月 1-2 回)

※GoSafeP3PRO をご使用の場合

「Navi フォルダ」の簡易マップデータのバックアップを行い、フォーマット完了後にメモリーカードにコピーを行って下さい。

⑤設定の初期化

ドライブレコーダー本体の設定を初期化してください。

(詳細な作業内容は各製品の取扱説明書にてご参照ください)

製品をご返送頂く場合:

より正確、より早くスムーズに修理検証が対応できるため、店舗もしくは当社宛てに、製品をご返送頂く場合、大変お手数ですが、必ず、下記同梱品のすべてをご返送ください。

○ドライブレコーダー本体

○製品に同梱されている専用シガープラグケーブル(電源コード)

○製品に同梱されているSDメモリーカード

※事前にお客様ご自身でSDメモリーカード内のデータをバックアップ取ってください。当社はそのSDメモリーカード内のデータは一切保障出来かねますので、ご了承ください。また、ご依頼事項内容もご記入頂き、上記製品と一緒に同梱で、店舗もしくは弊社まで送付してください。

※PAPAGO!製品に関するお問合せについて※

弊社は万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご都合など、お気づきの点がありましたら、大変お手数ですが、どうぞご連絡をください。

公式ホームページのお問い合わせフォームをご記入頂く場合:

<http://www.papago.co.jp/rma.html>

製品メールサポート担当宛てにご連絡頂く場合:

support@papago.co.jp



一番 パパゴ
0570-001-885

※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間: 10:00~12:00 14:00~17:00
月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始特定休業日を除く)

10.その他

CE規制について

本説明書に記載されているマーク、商品・サービス名は、各社の商標または登録商標、著作権であり、説明する目的として使用するのみです。



WEEE. [(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。



WEEE



電池

製品やパッケージに本記号が表示されている場合に、本製品と(或いは)内蔵電池を廃棄する際には、一般の廃棄物とは分別して指定した適切な回収場所を回収しなければならない。より詳細な情報については、現地の廃棄物管理機関や販売元あるいは廃棄物サービスステーションに尋ねてください。資源回収は人類の健康と環境保護に役に立っている、是非、ご協力をお願いします。

本製品は下記の規制に満たして設計されております。

電磁環境両立性指令 2004/108/EC

低電圧指令 2006/95/EC

電気電子機器における特定有害物質使用制限指令2002/95/EC

EuP指令(エネルギー使用製品)2005/32/EC

ErP指令(エネルギー関連製品)2009/125/EC

内蔵電池について、



廃棄電池はリサイクルへ

電池規格

Polumer Lithium-ion Battery(リチウムイオンポリマー電池)

3.7V === 470mAh 1.7Wh

注意事項

- 1.必ずお住まいの自治体の条例に従ってリサイクルへ。
- 2.自らは電池を交換しないでください。不適切な交換で爆発の恐れがあります。
- 3.本体を分解しないでください。
- 4.電池をショートさせないでください。
- 5.電池を適切な場所に保管してください。
- 6.電池を直射日光の当る場所、ストーブなどの熱源のそばに、高い温度になる場所に放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。

FCCについて

本製品はテストを実施した結果、クラス B デジタル装置の基準を満たし、FCC 規則パート 15 に準拠していることが認められました。

これらの基準は住宅への設置で有害な干渉に対して十分な保護を規定することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを発生、使用、また放射をすることがあるので指示どおりに設置して使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。また、インストールの仕方によっては干渉が生じないという保証はありません。本製品が無線受信またはテレビ受信に対して有害な干渉を起こした場合（装置のスイッチをオフにしたりオンにしたりすることにより判断できます）、以下の手段を講じることが推奨されます：

- 受信アンテナの方向または位置を再調整します。
- 本製品を受信装置から遠くに離します。
- 本製品を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続します。
- 販売店または経験豊富な無線／テレビ技術者に相談してアドバイスを求めます。

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます：

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

本製品はテストを実施した結果、クラス B デジタル装置の基準を満たし、FCC 規則パート 15 に準拠していることが認められました。

これらの基準は住宅への設置で有害な干渉に対して十分な保護を規定することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを発生、使用、また放射をすることがあるので指示どおりに設置して使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。また、インストールの仕方によっては干渉が生じないという保証はありません。本製品が無線受信またはテレビ受信に対して有害な干渉を起こした場合（装置のスイッチをオフにしたりオンにしたりすることにより判断できます）、以下の手段を講じることが推奨されます：

- 受信アンテナの方向または位置を再調整します。
- 本製品を受信装置から遠くに離します。
- 本製品を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続します。
- 販売店または経験豊富な無線／テレビ技術者に相談してアドバイスを求めます。

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます：

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項

PAPAGOが明示的に承認していない機器の変更や修正を行った場合には、ユーザが機器を使用する正当な権利が無効になることがあります。



地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

PAPAGO!

Driving Partner with you!

PAPAGO JAPAN株式会社

Designed in Taiwan, Made in China

Ver.2.4 10408

